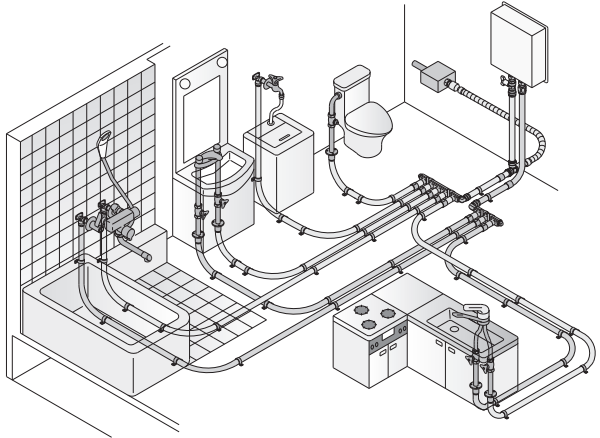


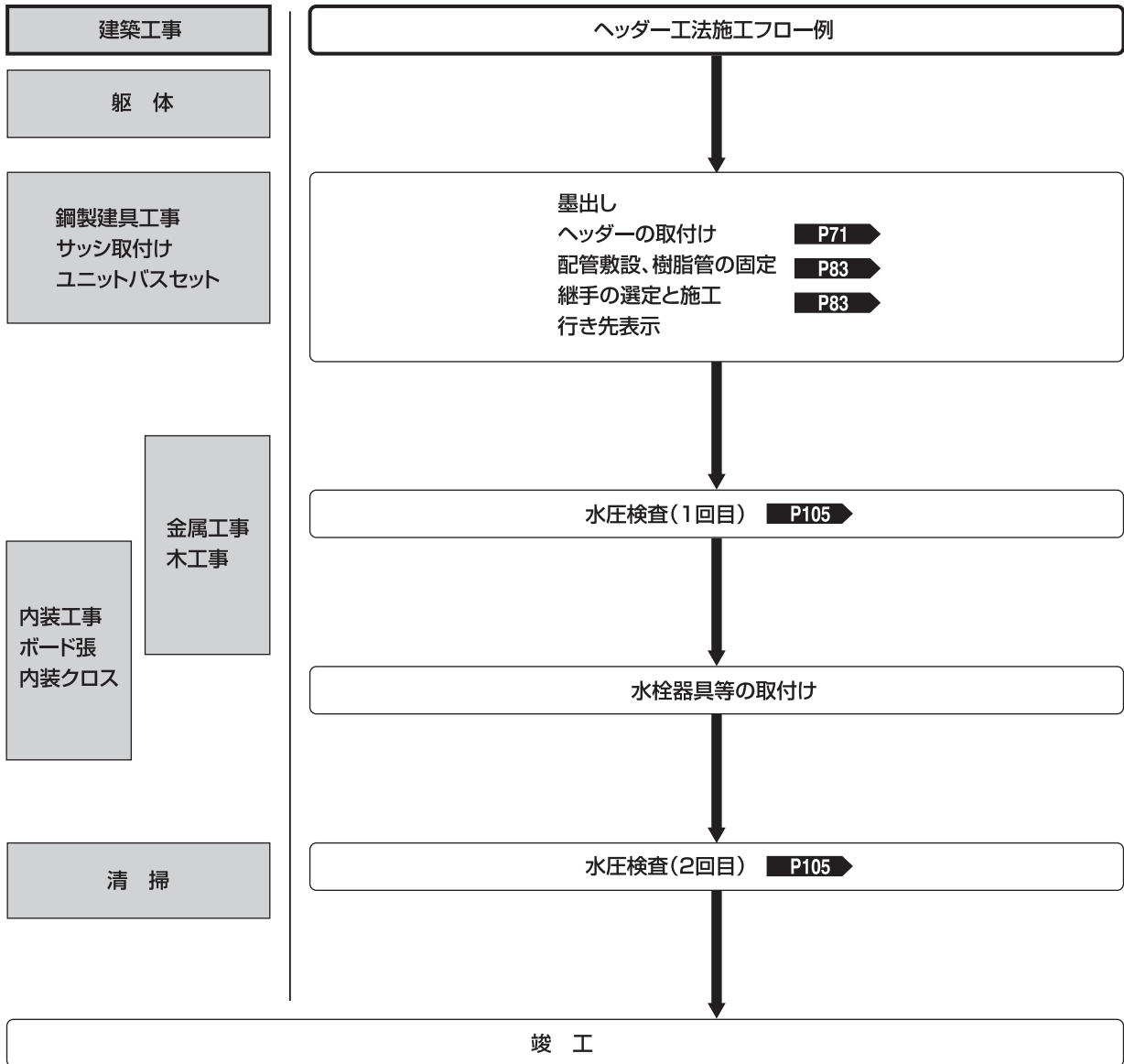
1	特長仕様
2	注意事項
3	配管設計
4	サヤ管ヘッダー工法 施工手順
5	ヘッダー工法 施工手順
6	先分岐工法 施工手順
7	水圧検査方法例
8	特記事項
9	参考資料

5-1 施工フロー及び詳細施工例

1 施工フロー



ヘッダー工法の施工フロー例を下記に示します。

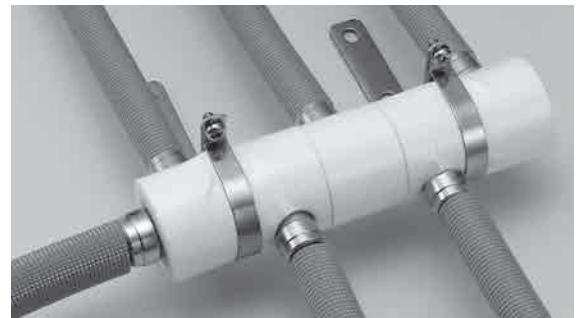
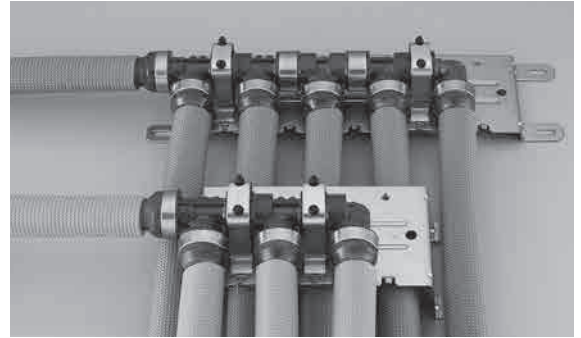
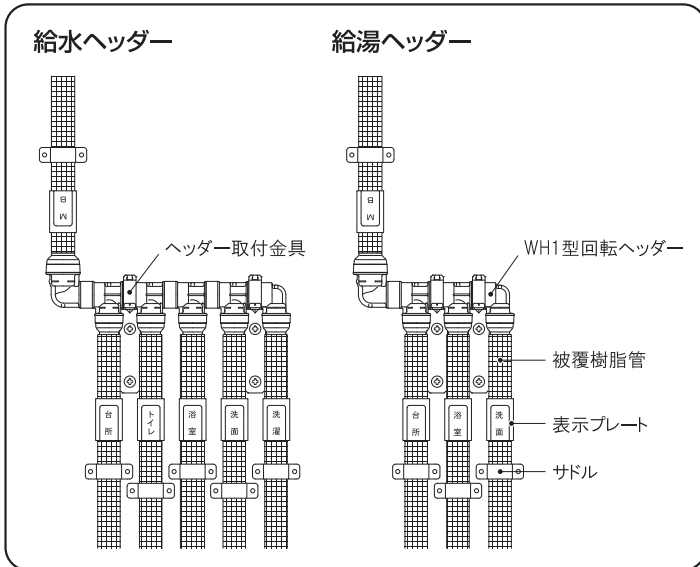


5 ヘッダー工法施工手順

詳細施工例

2 詳細施工例

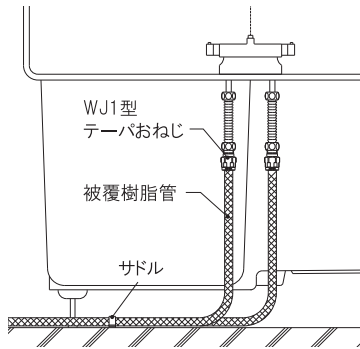
ヘッダー



■ダブルロックヘッダー施工例 P71

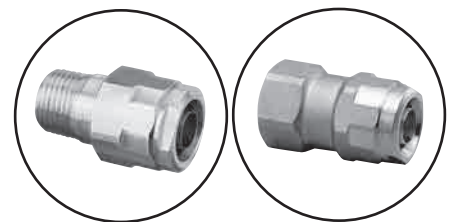
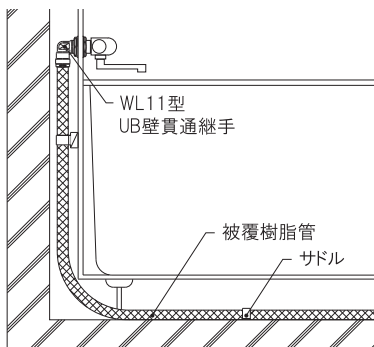
ユニットバス

■テーパおねじ



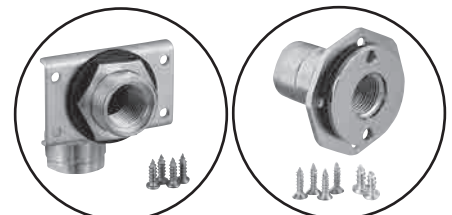
■テーパおねじ施工例 (WJ1型)

■UB壁貫通継手



テーパおねじ (WJ1型)

テーパめねじ (WJ2型)



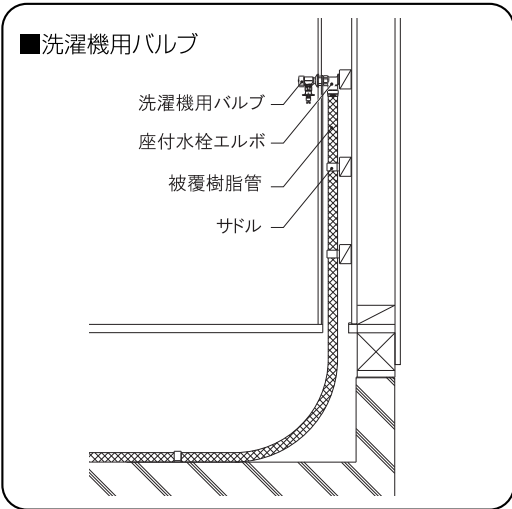
UB壁貫通継手 (WL11型)

UB壁貫通継手 (WJ13型)

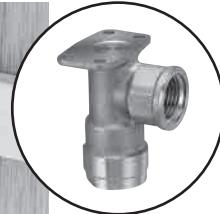
1	特長仕様
2	注意事項
3	配管設計
4	サヤ管ヘッダー工法 施工手順
5	ヘッダー工法 施工手順
6	先分岐工法 施工手順
7	水圧検査方法例
8	特記事項
9	参考資料

1 特長・仕様
2 注意事項
3 配管設計
4 サヤ管ヘッダー工法施工手順
5 ヘッダー工法施工手順
6 先分岐工法施工手順
7 水圧検査方法例
8 特記事項
9 参考資料

洗濯機



■座付水栓エルボ施工例 (WL5型) **P85**



逆座タイプ (WL6型)



両座タイプ (WL33型)



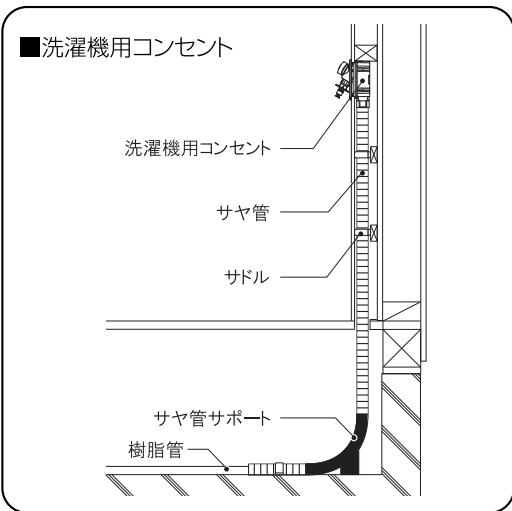
左座タイプ (WL14型)



右座タイプ (WL36型)

Point

設置場所に応じて座のタイプを選択して下さい。



■洗濯機用コンセント施工例 (WF1型) **P87**



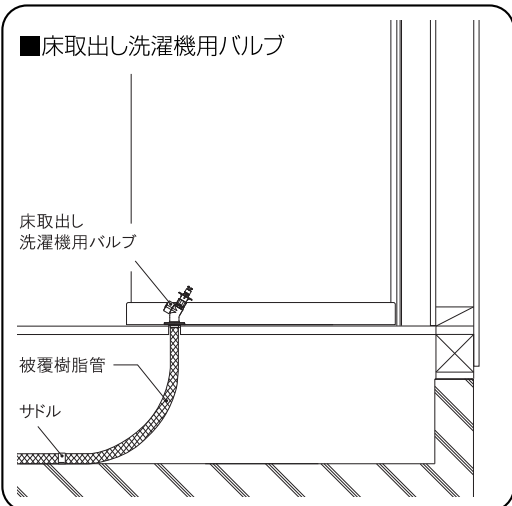
WF1M1型



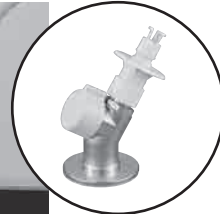
厚壁用 (WF1L型)

Point

壁厚に応じてWF1型、WF1M1型、厚壁用のWF1L型を選択して下さい。



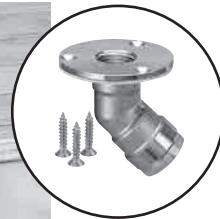
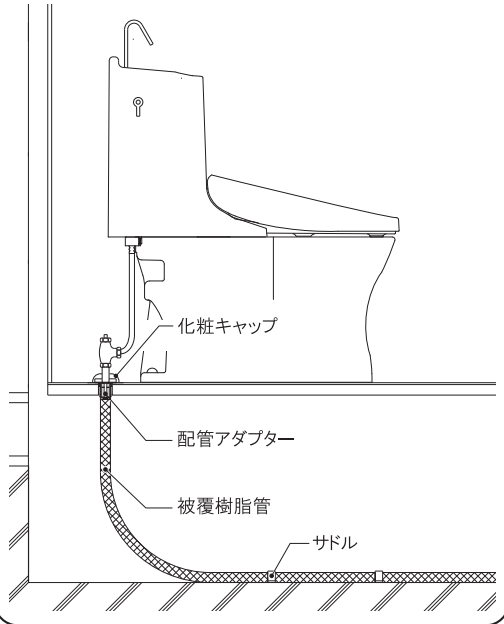
■床取出し洗濯機用バルブ施工例 (WF4型)



WF4型

トイレ

床立上げの場合



エルボタイプ
(WL13、16、28型)



回転式
(WL21型)

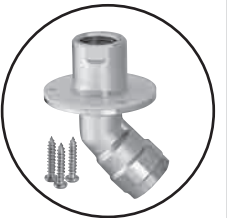
Point

エルボタイプは低床時の配管に便利です。

■配管アダプター施工例
(WJ8、17、34型) **P84**



WJ23、43、46型



エルボタイプ
(WL43型)

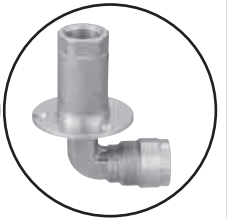
Point

床下より床の裏側に固定します。2階の配管に便利です。

■床下取付アダプター施工例
(WJ23、43型)



WJ46、WL43型



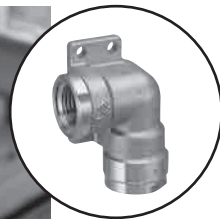
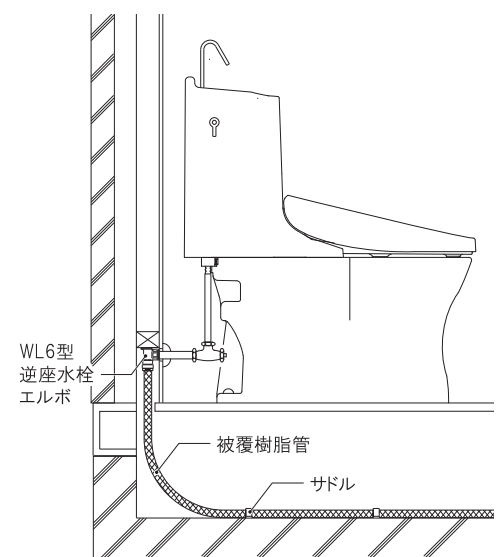
万能床座用
(WL57型)

Point

万能床座に取付け、高さを調整できます。床張り後にねじ(Rc1/2)への接続が目視確認できます。

■床下横取付アダプター施工例
(WJ30型)

壁取出しの場合



左座タイプ
(WL14型)



両座タイプ
(WL33型)

■右座水栓エルボ施工例
(WL36型) **P85**

1

特長・仕様

2

注意事項

3

配管設計

4

サヤ管ヘッター工法
施工手順

5

ヘッター工法
施工手順

6

先分岐工法
施工手順

7

水圧検査方法例

8

特記事項

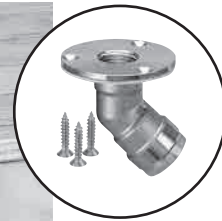
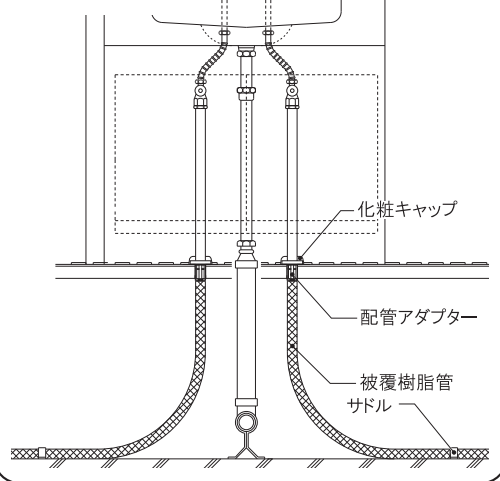
9

参考資料

洗面

床立上げの場合

■配管アダプター



エルボタイプ
(WL13、16、28型)



回転式
(WL21型)

Point

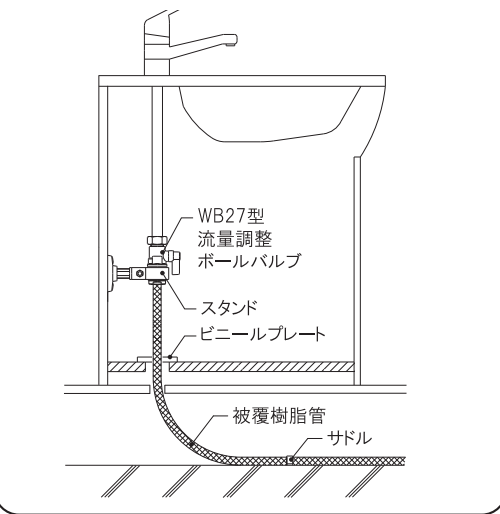
エルボタイプは低床時の配管に便利です。

■配管アダプター施工例

(WJ8、17、34型)

P84

■流量調整ボールバルブ

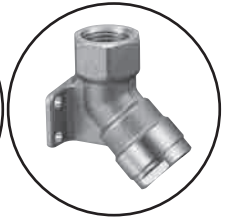


■床下横取付アダプター施工例

(WJ30型)



ロングタイプ
(WJ30型)

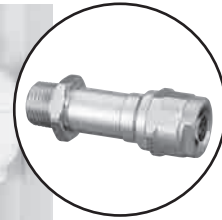


エルボタイプ
(WL35型)



■流量調整ボールバルブ施工例

(WB27型)



水栓胴長アダプター
(WJ12型)

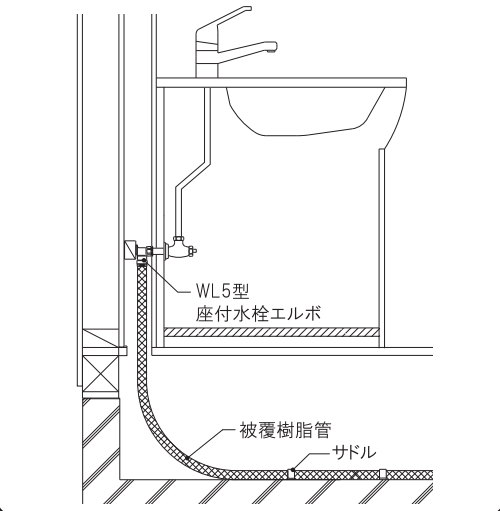


WB27型

Point

継手をスタンドで固定して施工します。

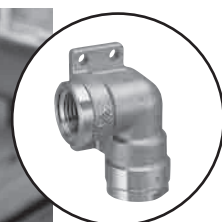
壁取出しの場合



■右座水栓エルボ施工例

(WL36型)

P85



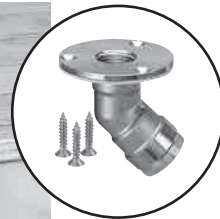
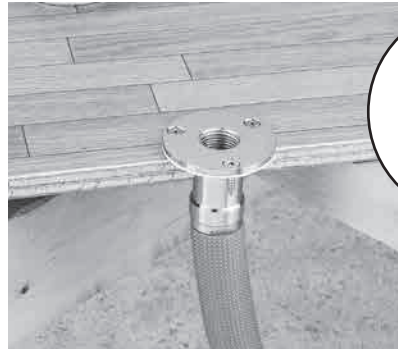
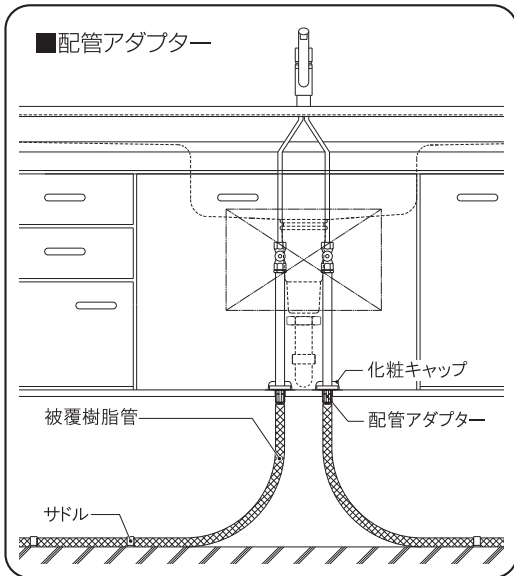
左座タイプ
(WL14型)



逆座タイプ
(WL6型)

- 1 特長・仕様
- 2 注意事項
- 3 配管設計
- 4 サヤ管ヘッダー工法施工手順
- 5 **ヘッダー工法施工手順**
- 6 先分岐工法施工手順
- 7 水圧検査方法例
- 8 特記事項
- 9 参考資料

キッチン



エルボタイプ
(WL13、16、28型)

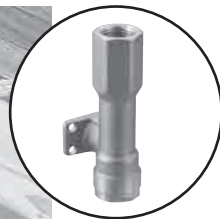
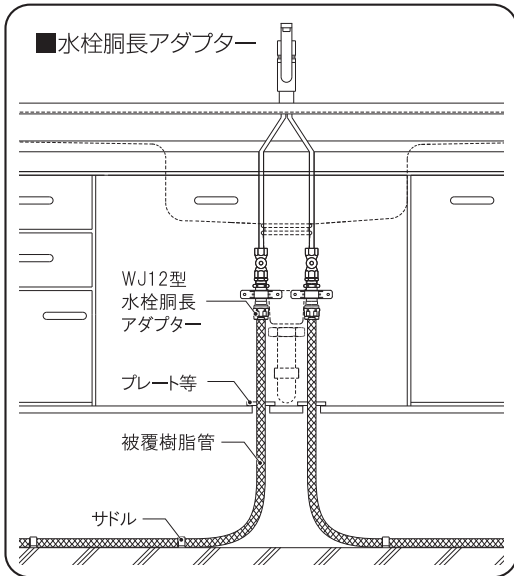


回転式
(WL21型)

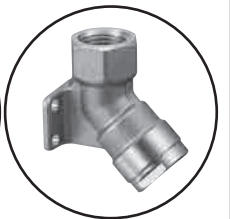
Point

エルボタイプは低床時の配管に便利です。

■配管アダプター施工例
(WJ8、17、34型) **P84**

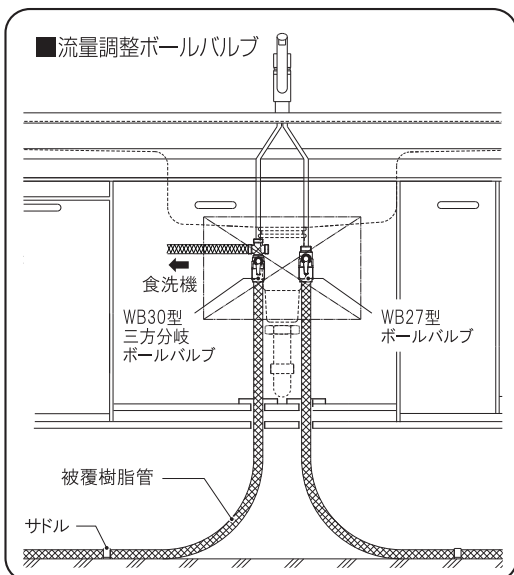


ロングタイプ
(WJ30型)

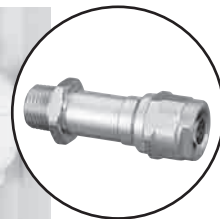


エルボタイプ
(WL35型)

■床下横取付アダプター施工例
(WJ30型)



■流量調整ボールバルブ施工例
(WB27型)



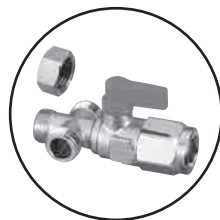
水栓胴長アダプター
(WJ12型)



WB27型

Point

継手をスタンドで固定して施工します。



三方分岐
(WB29、30型)



二方分岐
(WB31型)

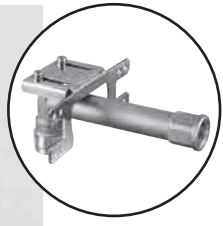
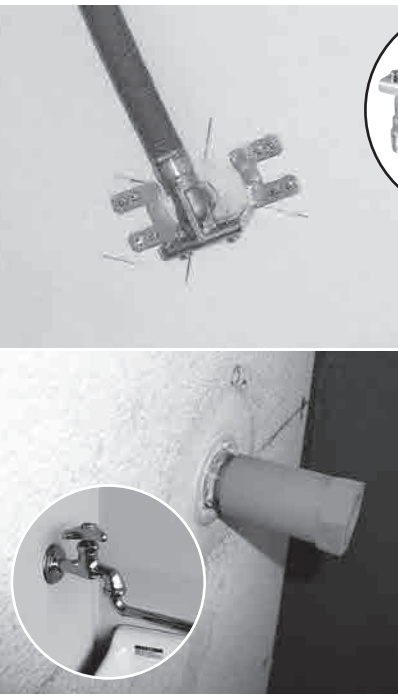
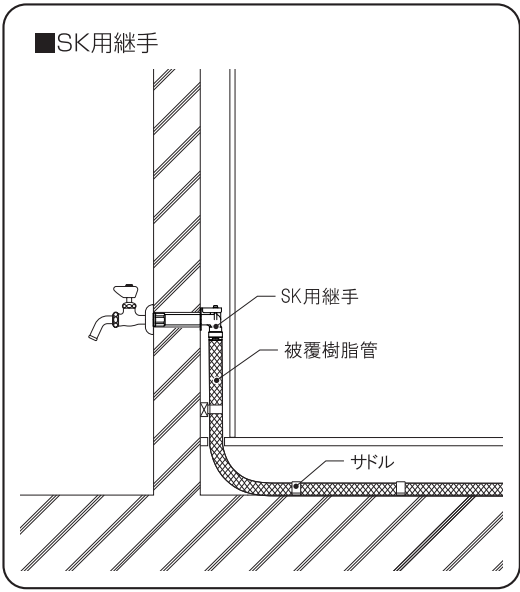
Point

WB29 型・WB30 型・WB31 型は食洗機や浄水器への分岐配管に便利です。

1	特長・仕様
2	注意事項
3	配管設計
4	サヤ管ヘッダー工法 施工手順
5	ヘッダー工法 施工手順
6	先分岐工法 施工手順
7	水圧検査方法例
8	特記事項
9	参考資料

- 1 特長・仕様
- 2 注意事項
- 3 配管設計
- 4 サヤ管ヘッダー工法施工手順
- 5 **ヘッダー工法施工手順**
- 6 先分岐工法施工手順
- 7 水圧検査方法例
- 8 特記事項
- 9 参考資料

SK

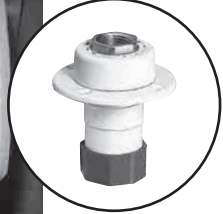
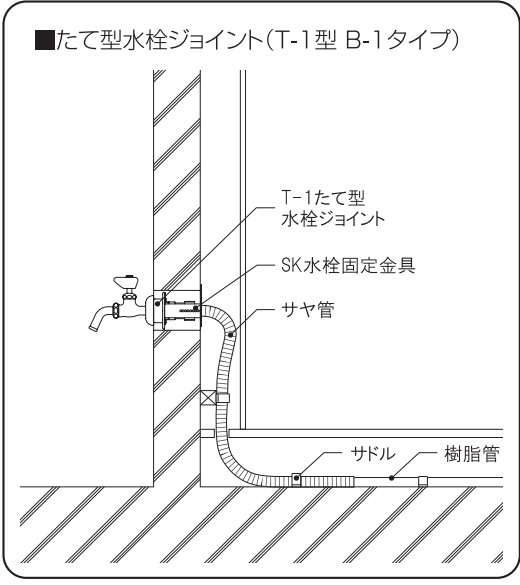


WL54型

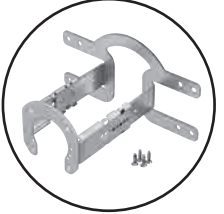
Point

壁空間 50mm以上に対応します。エルボ等を使用する配管と比べて接続箇所を削減できます。貫通穴径をφ50と小さくできるため、モルタルの埋め戻しの負荷を軽減できます。

■SK用継手施工例
(上：屋内側、下：屋外側) **P89**



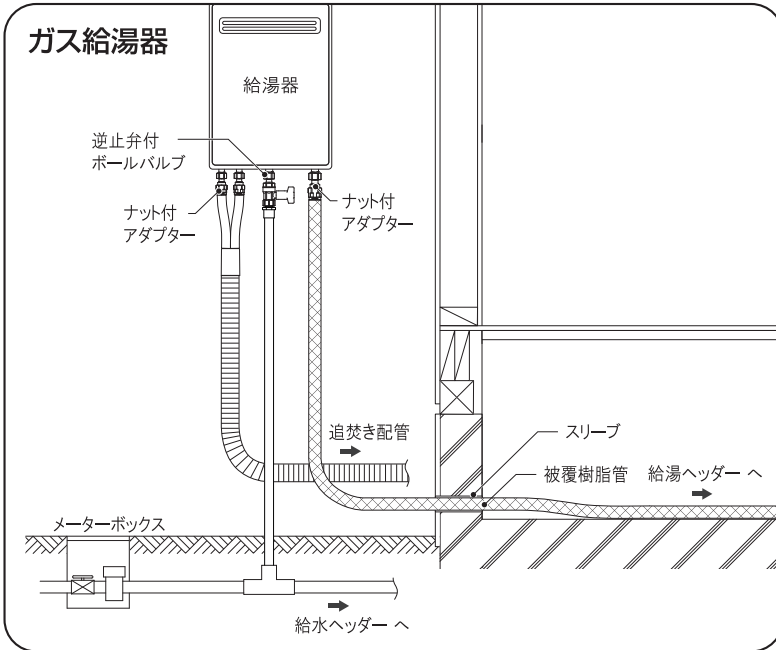
T-1型 (B-1タイプ)



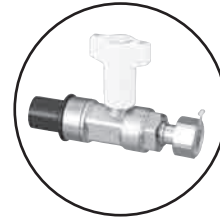
SK水栓固定金具

■たて型水栓ジョイント施工例
(上：屋内側、下：屋外側) **P59**

給湯器・給水引込み



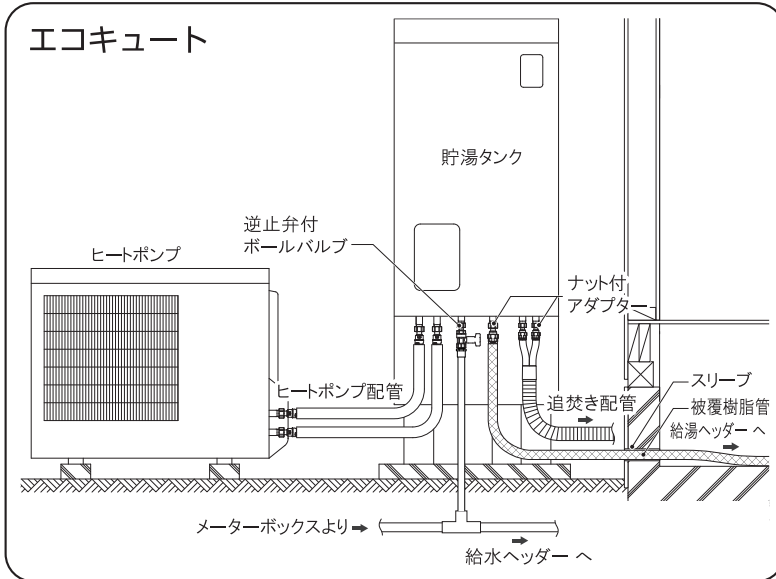
■給湯器配管施工例 (CBW7型)



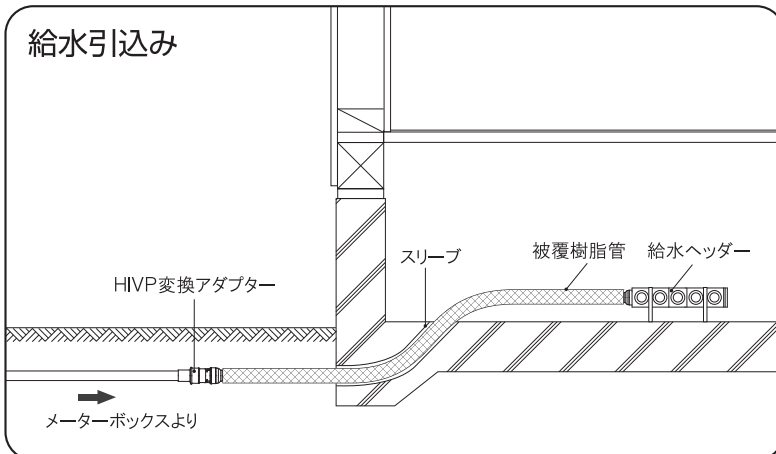
逆止弁付ボールバルブ (CB26型)



ナット付アダプター (WJ18型)



■HVP変換アダプター施工例 P109



HVP変換ソケット (WPJ27型)



HVP変換チーズ (WPT16型)

1	特長・仕様
2	注意事項
3	配管設計
4	サイヤ管ヘッダー工法 施工手順
5	↑ッター工法 施工手順
6	先分岐工法 施工手順
7	水圧検査方法例
8	特記事項
9	参考資料

5 ヘッダー工法施工手順
































ヘッダーの取付け

5-2 ヘッダーの取付け

1 ヘッダー・保温材・取付金具の種類

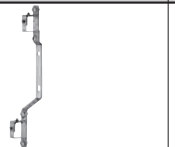





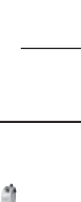


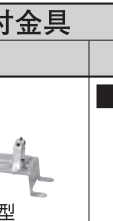





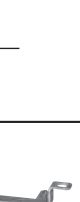



ヘッダー・保温材・取付金具の種類は表5-1の通りです。

表5-1 ヘッダー・保温材・取付金具の種類

ヘッダー	保温材	取付金具	
		シングルタイプ	ダイレクト取付タイプ
P73 WH型 (ダブルロック ジョイントタイプ)  SRH型 ※1 (ねじ込みタイプ) 	P77 10 mm 保温材  IHH型	P75  RHK-20 RHK-20L P77  RHK-20H10 RHK-20H10L	P75  RHK-20D RHK5-20D P77  RHK6-20DH
	P77 15 mm 保温材  RHH型 RHH3型	P77  RHK-20H RHK-20HL	P77  RHK-20DH
	P80 20 mm 保温材  RHH4型	—	P80  RHK-20DH20
	WH1型・WH2型・WH3型 (ダブルロック樹脂タイプ)  WRH型 (回転ヘッダー)  WHSU1型 ※4 (回転ヘッダー ウレタン保温材付) 	P77 10 mm 保温材  IHH型 ※2	P75  RHK-20 RHK-20L P77  RHK-20H10 RHK-20H10L
P77 15 mm 保温材  CHH型 RHH3型 ※2 ※3	P77  RHK-20H RHK-20HL	P77  RHK-20DH	
P80 20 mm 保温材  RHH4型 ※5	—	P80  RHK-20DH20	
P73 QH3型・QH4型 (クイックタイプ) 	—	P75  RHK-20 RHK-20L P80  QHK-20H QHK-20HL	P75  RHK-20D RHK5-20D P80  QHK5-20DH
	P80 15 mm 保温材  QHH型	—	—
P73 KH型 	10 mm 保温材  KHH型	—	—

1 特長仕様
2 注意事項
3 配管設計
4 サヤ管ヘッダー工法 施工手順
5 ヘッダー工法 施工手順
6 先分岐工法 施工手順
7 水圧検査方法例
8 特記事項
9 参考資料

- ※1: SRH型ヘッダーについてはRc3/4×Rc1/2サイズのみ一覧表に対応しています。その他のサイズについては専用の保温材・取付金具をご使用下さい。
- ※2: ヘッダー接続口が16Aの場合は、CHH(IHH)-2001-60を、20Aの場合は、CHH(IHH)-2001-66をご使用下さい。又、分岐の向きを変更する場合は保温材を切断してご使用下さい。
- ※3: プラヘッダーのCC型、JC型には使用できません。
- ※4: 10mm保温材が一体になっています。10mm保温材に対応する取付金具が使用できます。
- ※5: プラヘッダーのFE型、FA型、NE型、BF型、FF型、NB型、GE型、CF型、GF型、CC型、JC型には使用できません。
- ※6: RHK-20D、RHK5-20D取付金具は、WH1型・WH2型・WH3型ヘッダーには使用できません。

取付金具			
ペアータイプ	床固定タイプ	吊り下げタイプ	ヘッダーパネル
P75  RHK2-20	P76  RHK6型 RHK7型	P76  CHK2-T型	P76  GSH-TTD2 MGSHP型
—	P79  RHK6-H型 RHK7-H型	—	—
P77 P78  RHK2-20H HK-60	P79  RHK6-H15型 RHK7-H15型	P79  CHK2-TH型	P79  GSH-TFD MGSHP型
—	—	—	—
P75  RHK2-20	P76  RHK6型 RHK7型	P76  CHK2-T型	P76  GSH-TTD2 MGSHP型
—	P79  RHK6-H型 RHK7-H型	—	—
P77 P78  RHK2-20H HK-60	P79  RHK6-H15型 RHK7-H15型	P79  CHK2-TH型	P79  GSH-TFD MGSHP型
—	—	—	—
P75  RHK2-20	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—

1	特長仕様
2	注意事項
3	配管設計
4	サヤ管ヘッダー工法 施工手順
5	ヘッダー工法 施工手順
6	先分岐工法 施工手順
7	水圧検査方法例
8	特記事項
9	参考資料

5 ヘッダー工法施工手順

ヘッダーの取付け

1 特長仕様
2 注意事項
3 配管設計
4 サヤ管ヘッダー工法
5 ヘッダー工法
6 先分岐工法
7 水圧検査方法例
8 特記事項
9 参考資料

2 ヘッダーの取付位置

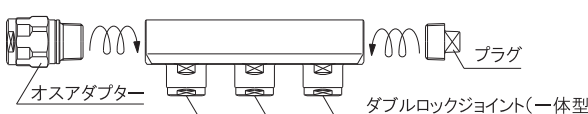
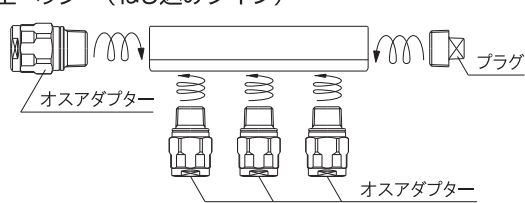
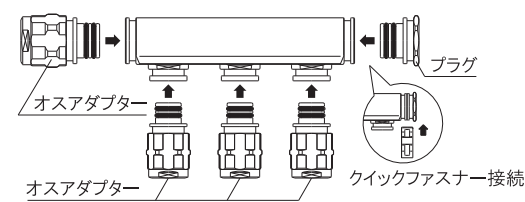
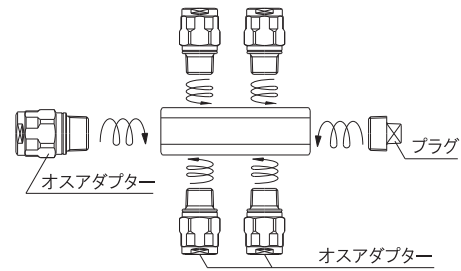
ヘッダーは給湯器の近く、パイプシャフト内や洗面台下等のメンテナンスや点検のできる場所に設置して下さい。
また、隠蔽部にヘッダーを設ける場合は、点検や管の更新等を考慮し、**表5-2**を目安にした点検口を設けて下さい。

表5-2 ヘッダー点検口の目安

単位：mm

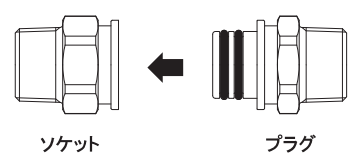
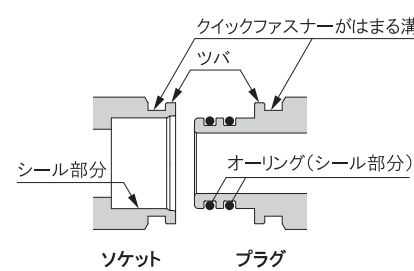
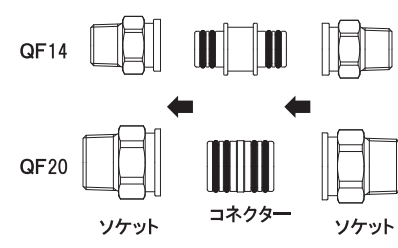
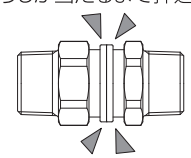

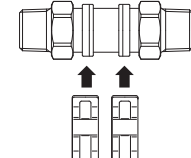
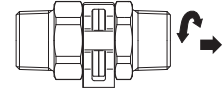
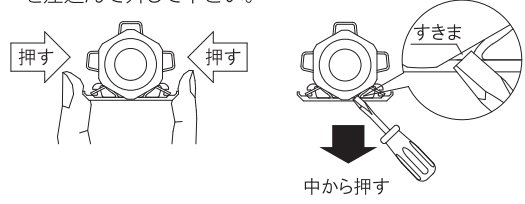
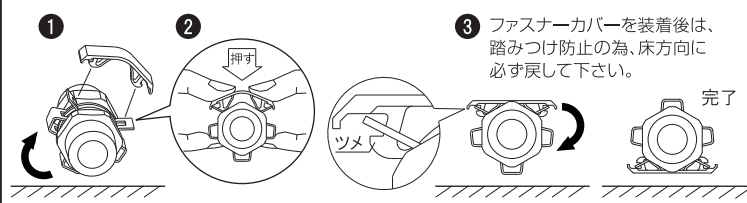
取出口数	項目	縦	横
5口		400以上	500以上
7口		400以上	600以上
9口		400以上	700以上

3 ヘッダーの接続

作業手順	⚠ 注意
<p>① ヘッダーにオスアダプター等をねじ込んで接続して下さい。</p> <p>1 WH型ヘッダー(ダブルロックジョイント一体型)</p>  <p>2 SRH型ヘッダー(ねじ込みタイプ)</p>  <p>3 QH型ヘッダー(クイックタイプ)</p>  <p>4 KH型ヘッダー(両側取出しタイプ)</p> 	<p>Point ヘッダー中間の接続口はダブルロックジョイントを一体化していますので、オスアダプターを取付ける必要はありません。</p> <p>・SRH型ヘッダー・QH型ヘッダー(QH3型、QH4型)を使用し、水栓によって管径を変える場合は、配管が交差ししないよう組付順序を注意して下さい。</p> <p>Point クイックファスナー接続については P74 をご覧下さい。</p>

4 クイックファスナーの接続手順

2種類の接続方法があります。また、不完全な接続は漏水の原因になります。

作業手順	⚠ 注意
<p>① <ソケット×プラグの組合せの場合> ソケットにプラグを挿入します。</p> 	<p>・継手はオーリングでシールされますので、保護キャップ・ポリ栓等は、施工直前に外し、施工前には継手内外部に異物、キズ、汚れ等がないか確認して下さい。</p> 
<p><ソケット×コネクタ×ソケットの組合せの場合> ソケットにコネクタを差込み、ソケットを挿入します。</p> 	<p>・ツバの端面どうしが当たるまで押込んで下さい。</p> 
<p>② クイックファスナーを継手の溝に確実に装着して下さい。 ③ クイックファスナーの真ん中に継手のツバがあることを確認して下さい。</p>	<p>・QF14コネクタはクイックファスナーが2個必要となります。</p>
	
<p>④ 継手及びクイックファスナーを回転させながら引っ張り、クイックファスナーが確実にハマっていること、継手が抜けないことを確認して下さい。</p> 	<p>・クイックジョイントは黄銅製、青銅製ともに埋設には使用できません。</p>
<p>⑤ 付属されている専用カバーを必ず取付けて下さい。 <クイックファスナーカバーの取付方法> クイックファスナーを取付け後、ファスナーを180°回転させます。カバーを少し曲げ、継手のツバとクイックファスナーとの間にカバーのツメをしっかりと押し込みます。カバー装着後180°戻します。</p>	<p>Point <クイックファスナーカバーの外し方> カバーを両側から押すと外せます。外しにくい場合は継手とカバーの隙間にドライバー等を差込んで外して下さい。</p> 
 <p>③ ファスナーカバーを装着後は、踏みつけ防止の為、床方向に必ず戻して下さい。</p>	<p>・クイックファスナーカバーは継手及びクイックファスナーが正しく取付けられているかどうかの確認、クイックファスナーが単独の場合よりも外れにくくする効果、クイックファスナー端部角でのケガ防止になっていますので、必ず取付けて使用して下さい。</p>

1	特長仕様
2	注意事項
3	配管設計
4	サヤ管ヘッダー工法 施工手順
5	ヘッダー工法 施工手順
6	先分岐工法 施工手順
7	水圧検査方法例
8	特記事項
9	参考資料

5 ヘッダー工法施工手順

ヘッダーの取付け

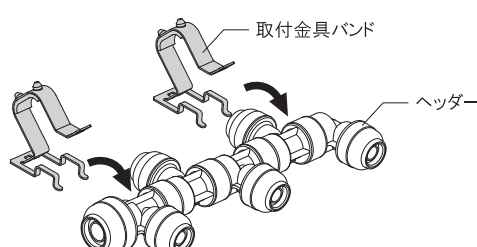
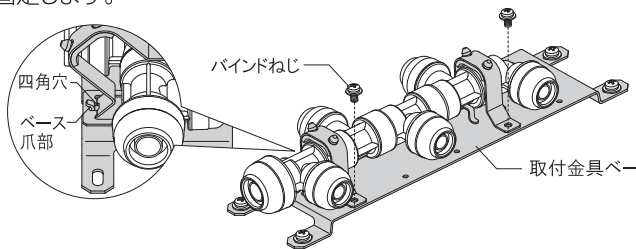
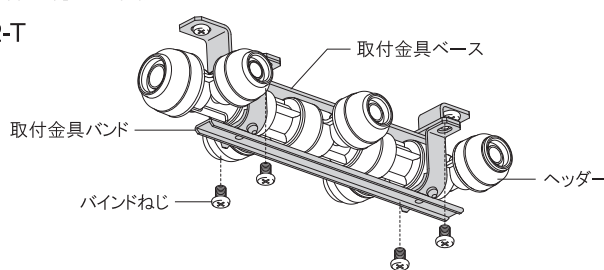
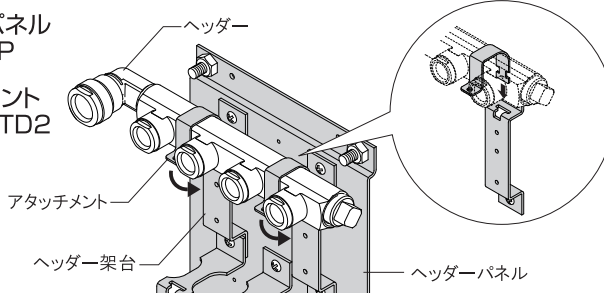
1 特長・仕様
2 注意事項
3 配管設計
4 サヤ管ヘッダー工法 施工手順
5 ヘッダー工法 施工手順
6 先分岐工法 施工手順
7 水圧検査方法例
8 特記事項
9 参考資料

5 ヘッダーの取付方法

WH型、SRH型、WH1型、WH2型、WH3型、WRH型、QH型ヘッダーの取付方法(保温材なし)

ヘッダー					保温材
					—
WH型 (ダブルロックジョイントタイプ)	SRH型 (ねじ込みタイプ)	WH1型・WH2型・WH3型 (ダブルロック樹脂タイプ)	WRH型 (回転ヘッダー)	QH型 (クイックタイプ)	

作業手順	⚠ 注意
<p>1 シングルタイプの場合</p> <p>① ヘッダー架台を、アンカー、ボルト、ナット(W3/8等)により壁や床にしっかり固定します。</p> <p>② 仮締めしてあるナベ小ねじと取付金具Cを外し、ヘッダー架台、又は取付金具Bにヘッダーを置きます。</p> <p>③ 取付金具Bに取付金具Cを挿入し、ヘッダーと取付金具Cをナベ小ねじにてしっかり固定します。</p> <p>■RHK-20 RHK-20L</p> <p>ナベ小ねじ 取付金具B 取付金具C ヘッダー ヘッダー架台</p>	<ul style="list-style-type: none"> 使用するアンカー、ボルト、ナットは十分に耐力のあるものを、防錆処置として、ステンレス製の耐腐食性に優れたものを使用して下さい。 取付金具の間隔は、分岐が5以下になるように必要数を使用して下さい。 SRH型(Rc1×Rc1/2、Rc1×Rc3/4サイズ)ヘッダーには使用できません。
<p>2 ダイレクト取付タイプの場合</p> <p>① ヘッダーをダイレクト取付金具ではさみ、アンカー、ボルト、ナット(W3/8等)により壁や床にしっかり固定します。</p> <p>■RHK-20D ■RHK5-20D</p> <p>ダイレクト取付金具 ヘッダー ダイレクト取付金具 ヘッダー</p>	<ul style="list-style-type: none"> 使用するアンカー、ボルト、ナットは十分に耐力のあるものを、防錆処置として、ステンレス製の耐腐食性に優れたものを使用して下さい。 取付金具の間隔は、分岐が5以下になるように必要数を使用して下さい。 WH1型、WH2型、WH3型及びSRH型(Rc1×Rc3/4サイズ)ヘッダーには使用できません。また、SRH型(Rc1×Rc1/2サイズ)ヘッダーには取付金具(RHK4-25D)を使用して下さい。
<p>3 ペア取付タイプの場合</p> <p>① ヘッダー取付金具の取付プレートをアンカー、ボルト、ナット(W3/8等)により壁や床にしっかり固定します。</p> <p>② 取付プレートと固定用バンドを仮締めしてあるナベ小ねじを外します。</p> <p>③ ヘッダーを固定用バンドではさみ、取付プレートにナベ小ねじにてしっかり固定します。</p> <p>■RHK2-20</p> <p>ナベ小ねじ 固定用バンド ヘッダー 取付プレート</p>	<ul style="list-style-type: none"> 使用するアンカー、ボルト、ナットは十分に耐力のあるものを、防錆処置として、ステンレス製の耐腐食性に優れたものを使用して下さい。 取付金具の間隔は、分岐が5以下になるように必要数を使用して下さい。 SRH型(Rc1×Rc3/4サイズ)ヘッダーには使用できません。また、SRH型(Rc1×Rc1/2サイズ)ヘッダーには取付金具(RHK3-25)を使用して下さい。

作業手順	⚠ 注意
<p>4 床固定タイプの場合</p> <p>① 取付金具ベースを、アンカー、ボルト等により床にしっかり固定します。</p> <p>② 取付金具バンドをヘッダーに装着します。</p> <p>■RHK6 (低床仕様) RHK7 (高床仕様)</p>  <p>③ 取付金具バンドの四角穴を取付金具ベース爪部に引っ掛け、取付金具バンドのもう片方の取付穴をバインドねじで取付金具ベースに固定します。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用するアンカー、ボルト、ナットは十分に耐力のあるものを、防錆処置として、ステンレス製の耐腐食性に優れたものを使用して下さい。 ・7連結以上のヘッダーにはRHK7-04は使用できません。 ・SRH型(Rc1×Rc1/2, Rc1×Rc3/4サイズ)ヘッダーには使用できません。 ・ヘッダー取付金具に強い力を加えると、バンドがベースの爪から外れる場合があるため注意して下さい。 ・ヘッダーを取付金具に取付けた後に、樹脂管を接続する時は、必ず手でヘッダーを押えて固定して下さい。 ・接続後の樹脂管を強く引っ張ってはいけません。
<p>5 吊り下げタイプの場合</p> <p>① 仮締めしてあるバインドねじと取付金具ベースを外します。</p> <p>② 取付金具ベースを天井等にアンカーボルト又は、寸切りボルトとナット(W3/8等)でしっかり固定します。</p> <p>③ ヘッダーを取付金具バンドにセットし、取付金具ベースにバインドねじで締め付けて固定します。</p> <p>■CHK2-T</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用するアンカー、ボルト、ナットは十分に耐力のあるものを、防錆処置として、ステンレス製の耐腐食性に優れたものを使用して下さい。 ・QH型ヘッダー及びSRH型(Rc1×Rc1/2, Rc1×Rc3/4サイズ)ヘッダーには使用できません。
<p>6 ヘッダーパネルの場合</p> <p>① ヘッダーパネルをアンカー、ボルト、ナット(W3/8等)により壁や床にしっかり固定します。</p> <p>② 付属のヘッダー架台をヘッダーパネルに取付けます。</p> <p>③ ヘッダーにアタッチメントをはめ、アタッチメントの爪部をヘッダー架台に差込み、90°回転させます。</p> <p>④ ヘッダー架台とアタッチメントをねじ締め固定します。</p> <p>ヘッダーパネル ■MGSHP アタッチメント ■GSH-TTD2</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用するアンカー、ボルト、ナットは十分に耐力のあるものを、防錆処置として、ステンレス製の耐腐食性に優れたものを使用して下さい。 ・ヘッダーパネルにヘッダー架台を取付ける際、アタッチメント取付け穴を上セットして下さい。 ・QH型ヘッダー及びSRH型(Rc1×Rc1/2, Rc1×Rc3/4サイズ)ヘッダーには使用できません。

1	特長仕様
2	注意事項
3	配管設計
4	サヤ管ヘッダー工法 施工手順
5	ヘッダー工法 施工手順
6	先分岐工法 施工手順
7	水圧検査方法例
8	特記事項
9	参考資料

5 ヘッダー工法施工手順

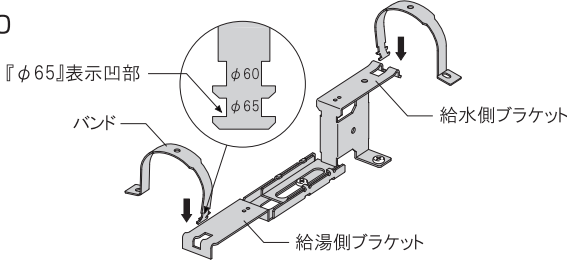
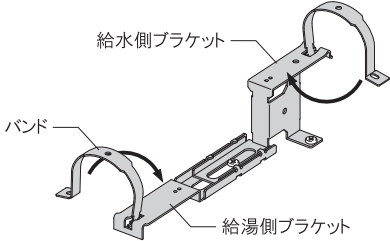
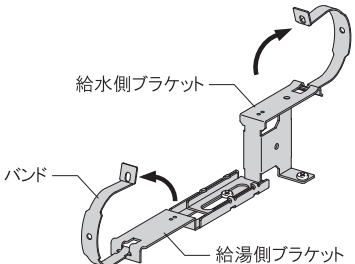
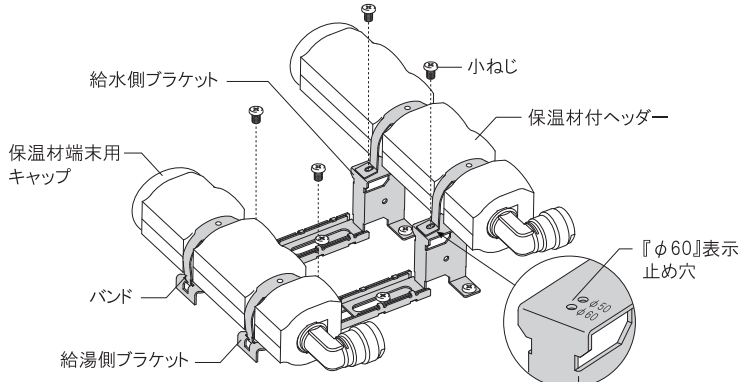
ヘッダーの取付け

WH型、SRH型、WH1型、WH2型、WH3型、WRH型ヘッダーの取付方法(保温材仕様)

ヘッダー				保温材	
WH型 (ダブルロックジョイントタイプ)	SRH型 (ねじ込みタイプ)	WH1型-WH2型-WH3型 (ダブルロック樹脂タイプ)	WRH型 (回転ヘッダー)	RHH3型	CHH型

作業手順	注意
<p>1 シングルタイプの場合</p> <p>① ヘッダー架台を、アンカー、ボルト、ナット(W3/8等)により壁や床にしっかり固定します。</p> <p>② 仮締めしてあるナベ小ねじを外し、ヘッダー架台、又は取付金具に保温材を取付けたヘッダーを置きます。</p> <p>③ 取付金具を可動させ、ヘッダー架台と取付金具をナベ小ねじにてしっかり固定します。</p> <p>■RHK-20H RHK-20HL</p> <p>■RHK-20H10 RHK-20H10L (10mm保温材用)</p> <p>保温材付ヘッダー 取付金具 ナベ小ねじ 保温材 末端用キャップ ヘッダー架台</p>	<p>・使用するアンカー、ボルト、ナットは十分に耐力のあるものを、防錆処置として、ステンレス製の耐腐食性に優れたものを使用して下さい。</p> <p>・取付金具の間隔は、分岐が5以下になるように必要数を使用して下さい。</p> <p>・SRH型(Rc1×Rc1/2, Rc1×Rc3/4サイズ)ヘッダーには使用できません。</p>
<p>2 ダイレクト取付タイプの場合</p> <p>① 保温材を取付けたヘッダーをヘッダーダイレクト取付金具保温材仕様タイプではさみ、アンカー、ボルト、ナット(W3/8等)により床にしっかり固定します。</p> <p>■RHK-20DH</p> <p>■RHK6-20DH (10mm保温材用)</p> <p>ダイレクト取付金具 保温材付ヘッダー 保温材 末端用キャップ</p>	<p>・使用するアンカー、ボルト、ナットは十分に耐力のあるものを、防錆処置として、ステンレス製の耐腐食性に優れたものを使用して下さい。</p> <p>・取付金具の間隔は、分岐が5以下になるように必要数を使用して下さい。</p> <p>・SRH型(Rc1×Rc1/2, Rc1×Rc3/4サイズ)ヘッダーには使用できません。</p>
<p>3 ペア取付タイプの場合</p> <p>① ヘッダー取付金具保温材仕様タイプの取付プレートをアンカー、ボルト、ナット(W3/8等)により壁や床にしっかり固定します。</p> <p>② 取付プレートと固定用バンドを仮締めしてあるナベ小ねじを外します。</p> <p>③ 保温材を取付けたヘッダーを固定用バンドではさみ、取付プレートにナベ小ねじにてしっかり固定します。</p> <p>■RHK2-20H</p> <p>保温材付ヘッダー 固定用バンド 保温材 末端用キャップ 取付プレート ナベ小ねじ</p>	<p>・使用するアンカー、ボルト、ナットは十分に耐力のあるものを、防錆処置として、ステンレス製の耐腐食性に優れたものを使用して下さい。</p> <p>・取付金具の間隔は、分岐が5以下になるように必要数を使用して下さい。</p> <p>・SRH型(Rc1×Rc1/2, Rc1×Rc3/4サイズ)ヘッダーには使用できません。</p>

1 特長仕様
2 注意事項
3 配管設計
4 サヤ管ヘッダー工法 施工手順
5 ヘッダー工法 施工手順
6 先分岐工法 施工手順
7 水圧検査方法例
8 特記事項
9 参考資料

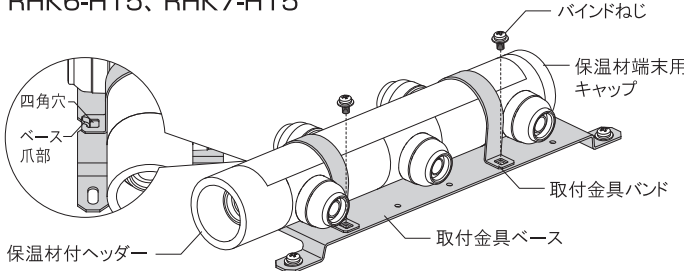
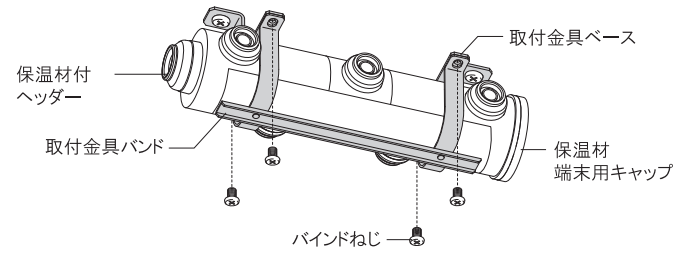
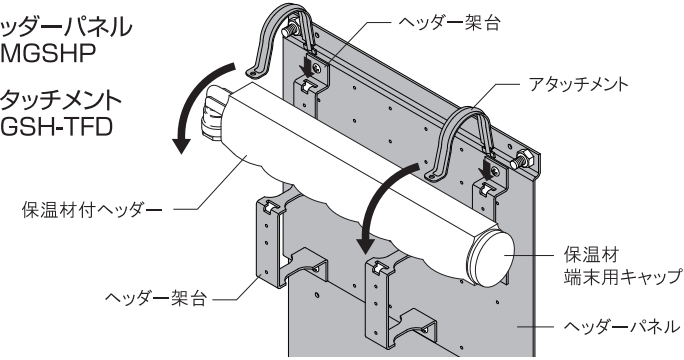
作業手順	⚠ 注意
<p>① 給水側ブラケット、給湯側ブラケットをアンカー等により床にしっかり固定します。バンドの『φ65』表示凹部をブラケットの穴部に引っ掛けます。</p> <p>■HK-60</p>  <p>② 穴部に引っ掛けたバンドを90°回転させます。</p>  <p>③ バンドを90°倒し、ヘッダーが入りやすいように開きます。</p>  <p>④ 保温材を取付けたヘッダーをセットし、ブラケットの『φ60』表示止め穴にバンドを合わせて小ねじを締め付け固定します。</p> 	<p>・使用するアンカー等は十分に耐力のあるものを、防錆処置として、ステンレス製等の耐腐食性に優れたものを使用して下さい。</p> <p>・SRH型(Rc1×Rc1/2, Rc1×Rc3/4サイズ)ヘッダーには使用できません。</p>

1	特長仕様
2	注意事項
3	配管設計
4	サヤ管ヘッダー工法 施工手順
5	ヘッダー工法 施工手順
6	先分岐工法 施工手順
7	水圧検査方法例
8	特記事項
9	参考資料

5 ヘッダー工法施工手順

ヘッダーの取付け

1 特長仕様
2 注意事項
3 配管設計
4 サヤ管ヘッダー工法
5 ヘッダー工法
6 先分岐工法
7 水圧検査方法例
8 特記事項
9 参考資料

作業手順	⚠ 注意
<p>4 床固定タイプの場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 取付金具ベースを、アンカー、ボルト等により床にしっかり固定します。 取付金具バンドをヘッダーに装着します。 取付金具バンドの四角穴を取付金具ベース爪部に引っ掛け、取付金具バンドのもう片方の取付穴をバインドねじで取付金具ベースに固定します。 <p>■RHK6-H、RHK7-H (10mm保温材用) RHK6-H15、RHK7-H15</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 使用するアンカー、ボルト、ナットは十分に耐力のあるものを、防錆処置として、ステンレス製等の耐腐食性に優れたものを使用して下さい。 SRH型(Rc1×Rc1/2、Rc1×Rc3/4サイズ)ヘッダーには使用できません。 ヘッダー取付金具に強い力を加えると、バンドがベースの爪から外れる場合があるため注意して下さい。 ヘッダーを取付金具に取付けた後に、樹脂管を接続する時は、必ず手でヘッダーを押えて固定して下さい。 接続後の樹脂管を強く引っ張ってはいけません。
<p>5 吊り下げタイプの場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 仮締めしてあるバインドねじと取付金具バンドを外します。 取付金具ベースを天井等にアンカーボルト又は、寸切りボルトとナット(W3/8等)でしっかり固定します。 保温材を取付けたヘッダーを取付金具バンドにセットし、取付金具ベースにバインドねじで締め付けて固定します。 <p>■CHK2-TH</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 使用するアンカー、ボルト、ナットは十分に耐力のあるものを、防錆処置として、ステンレス製等の耐腐食性に優れたものを使用して下さい。 SRH型(Rc1×Rc1/2、Rc1×Rc3/4サイズ)ヘッダーには使用できません。
<p>6 ヘッダーパネルの場合</p> <ol style="list-style-type: none"> ヘッダーパネルをアンカー、ボルト、ナット(W3/8等)により壁や床にしっかり固定します。 付属のヘッダー架台をヘッダーパネルに取付けます。 保温材を取付けたヘッダーをヘッダー架台にのせ、アタッチメントの爪部をヘッダー架台に差込み、90°回転させます。 ヘッダー架台とアタッチメントをねじ締め固定します。 <p>ヘッダーパネル ■MGSHP アタッチメント ■GSH-TFD</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 使用するアンカー、ボルト、ナットは十分に耐力のあるものを、防錆処置として、ステンレス製等の耐腐食性に優れたものを使用して下さい。 ヘッダーパネルにヘッダー架台を取付ける際、アタッチメント取付け穴を上セットして下さい。 SRH型(Rc1×Rc1/2、Rc1×Rc3/4サイズ)ヘッダーには使用できません。

WH型、SRH型、WH1型、WH2型、WH3型、WRH型ヘッダーの取付方法(20mm保温材仕様)

ヘッダー				保温材
WH型 (ダブルロックジョイントタイプ)	SRH型 (ねじ込みタイプ)	※WH1型・WH2型・WH3型 (ダブルロック樹脂タイプ)	WRH型 (回転ヘッダー)	RHH4型

※一部型式は使用できません。P72をご確認下さい。

作業手順	⚠ 注意
<p>1 ダイレクト取付タイプの場合</p> <p>① 保温材を取付けたヘッダーを取付金具ではさみ、アンカー、ボルト、ナット(W3/8等)により床にしっかり固定します。</p> <p>■RHK-20DH20</p> <p>取付金具 保温材付ヘッダー 保温材 端末用キャップ</p>	<p>・使用するアンカー、ボルト、ナットは十分に耐力のあるものを、防錆処置として、ステンレス製等の耐腐食性に優れたものを使用して下さい。</p> <p>・SRH型(Rc1×Rc1/2、Rc1×Rc3/4サイズ)ヘッダーには使用できません。</p>

QH型ヘッダーの取付方法(15mm保温材仕様)

ヘッダー	保温材
QH3型 (ねじヘッダー)	QH4型 (クイックヘッダー)
	QH型

作業手順	⚠ 注意
<p>1 シングルタイプの場合</p> <p>① ヘッダー架台を、アンカー、ボルト、ナット(W3/8等)により壁や床にしっかり固定します。</p> <p>② 仮締めしてあるナベ小ねじをはずし、保温材の切欠きにヘッダー架台を差込みます。</p> <p>③ 取付金具を可動させ、ヘッダー架台と取付金具をナベ小ねじにてしっかり固定します。</p> <p>■QHK-20H QHK-20HL</p> <p>保温材付ヘッダー 取付金具 ナベ小ねじ ヘッダー架台 保温材 端末用キャップ</p>	<p>・使用するアンカー、ボルト、ナットは十分に耐力のあるものを、防錆処置として、ステンレス製等の耐腐食性に優れたものを使用して下さい。</p>
<p>2 ダイレクト取付タイプの場合</p> <p>① 保温材の切欠きにダイレクト取付金具を差込み、アンカー、ボルト、ナット(W3/8等)により壁や床にしっかり固定します。</p> <p>■QHK5-20DH</p> <p>保温材付ヘッダー ダイレクト取付金具 保温材 端末用キャップ</p>	<p>・使用するアンカー、ボルト、ナットは十分に耐力のあるものを、防錆処置として、ステンレス製等の耐腐食性に優れたものを使用して下さい。</p>

1	特長・仕様
2	注意事項
3	配管設計
4	サヤ管ヘッダー工法 施工手順
5	ヘッダー工法 施工手順
6	先分岐工法 施工手順
7	水圧検査方法例
8	特記事項
9	参考資料

5 ヘッダー工法施工手順

ヘッダーの取付け

6 変換アダプターの接続手順

ダブルロックジョイント・ダブルロックジョイントPシリーズの変換アダプターです。
樹脂管13A・16A・20A接続口を、様々な施工に対応できるように変換します。

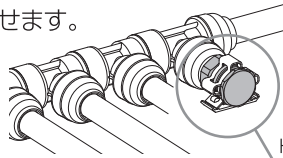
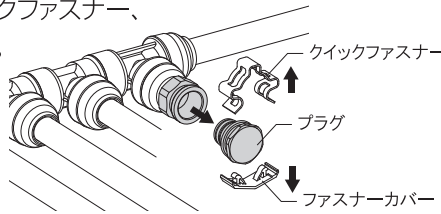
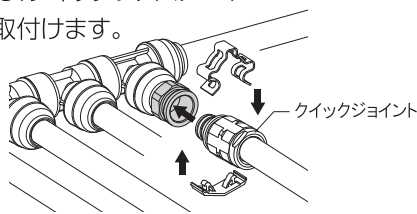
型 式	HPJ24型	HJ24型	HJ44型	HJ2型	HL24型
外 観					
変換形状	ダブルロックジョイント(P) → ダブルロックジョイントP	ダブルロックジョイント(P) → ダブルロックジョイント	ダブルロックジョイント(P) → テーパーおねじ(管端コア対応)	ダブルロックジョイント(P) → テーパーめねじ	ダブルロックジョイント(P) → ダブルロックエルボ
変換サイズ	13A → 10A 16A → 13A 20A → 13A・16A	13A → 10A 13A → 16A 16A → 20A	13A → R1/2 13A → R3/4 16A → R3/4	13A → Rc1/2 13A → Rc3/4 16A → Rc3/4	13A → 13A 16A → 16A 16A → 20A

型 式	HWB型	HJS型	HJ31型	HJ50型	HPT8型
外 観					
変換形状	ダブルロックジョイント(P) → ダブルロックバルブ	ダブルロックジョイント(P) → クイックジョイント	ダブルロックジョイント(P) → ポリ管ジョイント(水道用ポリエチレン管)	ダブルロックジョイント(P) → 吸気弁	ダブルロックジョイント(P) → ダブルロックジョイントP
変換サイズ	13A → 10A 13A → 13A 16A → 16A	13A → QF14	13A → 13mm 16A → 20mm	13A → 吸気弁	13A → 13A×13A 16A → 16A×13A

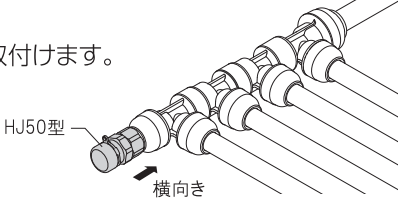
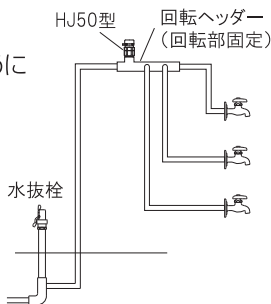
作業手順	注意
<p>① ■ダブルロックジョイントの場合 シールをはがしインコアを取出します。(インコアは使用しません。)</p> <p>■ダブルロックジョイントPの場合 挿入ゲージを取外します。(挿入ゲージは使用しません。)</p>	<p>・キャップを外した後は、キズ・異物が付かない様に注意し取扱い下さい。</p> <p>・接続は最後までしっかり行って下さい。不完全な接続は漏水の原因になります。</p> <p>Point 変換アダプターは差込み後に回転可能です。</p>
<p>② 変換アダプターの保護キャップを外し、キズや異物の付着がないことを確認します。</p>	
<p>③ 接続口に変換アダプターを差込みます。変換アダプターの端面が当たるまで入ると正しい施工です。</p>	
<p>④ 変換アダプターを回転させてなじませ、引っ張り抜けないことを確認します。</p>	

1 特長・仕様
2 注意事項
3 配管設計
4 サヤ管ヘッダー工法施工手順
5 ヘッダー工法施工手順
6 先分岐工法施工手順
7 水圧検査方法例
8 特記事項
9 参考資料

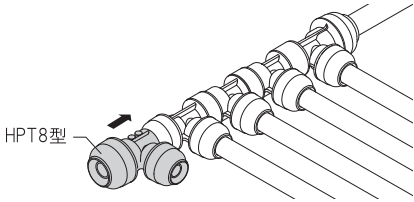
HJS型 変換アダプターの施工手順

作業手順	⚠ 注意
<p>① 通常はプラグにて止水させます。</p>  <p style="text-align: right;">HJS型 変換アダプター</p> <p>② ファスナーカバー、クイックファスナー、プラグの順に取外します。</p>  <p style="text-align: right;">クイックファスナー プラグ ファスナーカバー</p> <p>③ クイックジョイントを挿入し、クイックファスナー、ファスナーカバーの順に取付けます。</p>  <p style="text-align: right;">クイックジョイント</p>	<p>・ファスナーカバーは、継手及びクイックファスナーが正しく取付けられているか確認するもので、必ず取付けて下さい。 ファスナーカバーを装着後は、踏みつけ防止の為床方向に必ず戻して下さい。</p>

HJ50型 吸気弁アダプターの施工手順

作業手順	⚠ 注意
<p>上向き、横向き取付け可能です。</p> <p>■横向き取付け</p> <p>① ヘッダー端末に横向きに取付けます。</p>  <p style="text-align: right;">HJ50型 横向き</p> <p>■上向き取付け</p> <p>① 回転する接続口に取付ける場合は、接続口が回転して下向きにならないように回転部分を取付金具等で固定して、上向きに取付けます。</p>  <p style="text-align: right;">HJ50型 回転ヘッダー (回転部固定) 水抜栓</p>	<p>・隠蔽部には取付けしないで下さい。 万一、事故などが起きた場合に対処できなくなる可能性があります。</p> <p>・下向きには取付けしないで下さい。 作動不良の原因になります。</p>

HPT8型 継足しチーズの施工手順

作業手順	⚠ 注意
<p>ヘッダー端末に取付けます。</p>  <p style="text-align: right;">HPT8型</p>	<p>・継足しチーズを2個以上連続して接続させないで下さい。</p> <p>Point 保温材は、継足しチーズ専用保温材を使用して下さい。</p>

1	特長・仕様
2	注意事項
3	配管設計
4	サヤ管ヘッダー工法 施工手順
5	ヘッダー工法 施工手順
6	先分岐工法 施工手順
7	水圧検査方法例
8	特記事項
9	参考資料

5 ヘッダー工法施工手順

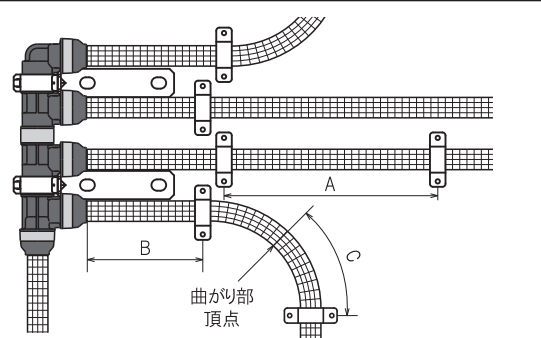
樹脂管の固定・継手の選定

5-3 樹脂管の固定

樹脂管の支持間隔は表5-3の通りとして下さい。

表5-3 樹脂管の支持間隔

部位	支持間隔	
	床ころがし配管	天井配管
A 直管部	1000mm以内	600mm以内
B 継手部	300~500mm	300~500mm
C 立ち上がり部 曲がり部	曲がり部頂点より 500mm以内	曲がり部頂点より 300mm以内



⚠ 注意

- ・ 接続部よりすぐに樹脂管を曲げて配管しないで下さい。
- ・ 上記は推奨値です。天井配管で垂れ下がり の可能性がある場合等は支持間隔を短くして下さい。

5-4 継手の選定

各器具との接続は器具側に合わせて継手を選定して下さい。

施工場所	使用継手例
ユニットバス	おねじアダプター・めねじアダプター
洗濯機	座付水栓エルボ P85 洗濯機用コンセント P87
洗面 台所流し台 トイレ	壁取出し — 座付水栓エルボ P85 床取出し — 配管アダプター P84
ベランダ・バルコニー	SK用継手 P89
メーターボックス	HVP変換継手 P109
分岐部	チーズ P86



■座付水栓エルボ施工例



■配管アダプター施工例



■洗濯機用コンセント施工例

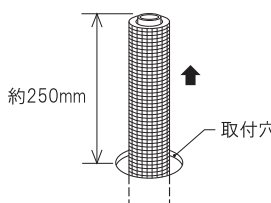

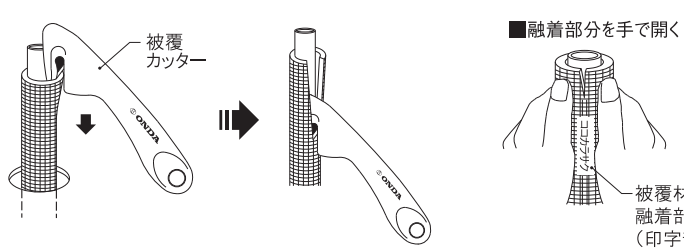
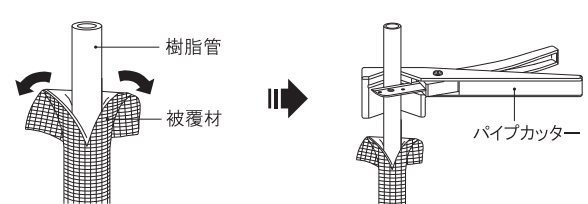
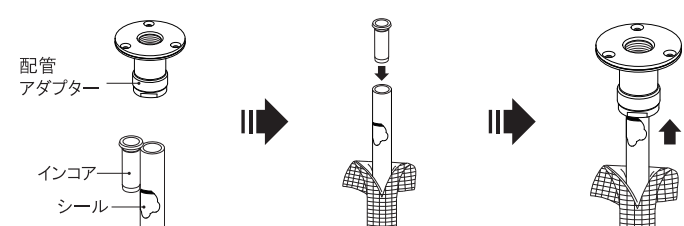

1 特長仕様
2 注意事項
3 配管設計
4 サヤ管ヘッダー工法 施工手順
5 ヘッダー工法 施工手順
6 先分岐工法 施工手順
7 水圧検査方法例
8 特記事項
9 参考資料

5 ヘッダー工法施工手順

継手の施工手順

5-5 継手の施工手順

1 配管アダプターの取付方法

作業手順	⚠ 注意														
<p>① 床に 表5-4 を目安として穴を開け、樹脂管を被覆材ごと通します。</p>  <p>約250mm ↑ 取付穴</p>	<p>・ 樹脂管は接続時の握りしろとして約250mm確保して下さい。</p> <p>表5-4 取付穴径の目安</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">呼び径</th> <th rowspan="2">穴径</th> </tr> <tr> <th>ねじ</th> <th>樹脂管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/2</td> <td>10A・13A</td> <td>φ 32mm</td> </tr> <tr> <td>1/2</td> <td>16A</td> <td>φ 37mm</td> </tr> <tr> <td>3/4</td> <td>16A</td> <td>φ 40mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 上記表の値は目安です。継手形状、ビス取付ピッチ及び取付板厚を考慮の上、穴径を決定して下さい。取付穴を大きく開けすぎますと、ビス止めがしづらくなります。</p> <p>・ 被覆材を開くために、カッターナイフ等の刃物を使用しないで下さい。刃先が樹脂管にあたり、樹脂管を傷つける恐れがあります。</p> <p>Point 被覆力ポリパイプWには融着部分に案内線が印刷されています。</p>  <p>Point ダブルロックジョイント接続手順の詳細は P7 をご覧下さい。</p> <p>・ 樹脂管の接続は確実に行って下さい。差込み不足は漏水の原因になります。</p> <p>・ 樹脂管が劣化しますので、粘着テープを直接樹脂管に巻かないで下さい。</p>	呼び径		穴径	ねじ	樹脂管	1/2	10A・13A	φ 32mm	1/2	16A	φ 37mm	3/4	16A	φ 40mm
呼び径		穴径													
ねじ			樹脂管												
1/2		10A・13A	φ 32mm												
1/2		16A	φ 37mm												
3/4		16A	φ 40mm												
<p>② 被覆材と樹脂管の間に被覆カッター先端を挿入し、樹脂管の接続に必要な長さまで被覆カッターを引いて被覆材を切ります。又は、被覆材の融着部分を手で開きます。</p>  <p>被覆カッター 融着部分を手で開く 被覆材の融着部分 (印字部)</p>															
<p>③ 被覆材の切った部分を折り返して、樹脂管をパイプカッターを用いて管軸に直角になるように切断します。</p>  <p>樹脂管 被覆材 パイプカッター</p>															
<p>④ 配管アダプターに貼られたシールをはがし、インコアを取出します。シールのラインをインコア挿入部の長さに合わせて樹脂管に貼付けます。</p>															
<p>⑤ インコアを根元まで樹脂管に差込みます。</p>															
<p>⑥ シールのラインが配管アダプター端面に入るまで樹脂管を配管アダプターに差込みます。</p>  <p>配管アダプター インコア シール</p>															
<p>⑦ 被覆材を元に戻し、配管アダプターに触れる位置で余分な被覆材を切り落とします。樹脂管が露出しないよう、粘着テープを巻き付けます。</p>															
<p>⑧ 配管アダプターをビスにて、床に取付けます。</p>  <p>配管アダプター 粘着テープ ビス</p>															

1 特長仕様

2 注意事項

3 配管設計

4 サヤ管ヘッダー工法
施工手順

5 ヘッダー工法
施工手順

6 先分岐工法
施工手順

7 水圧検査方法例

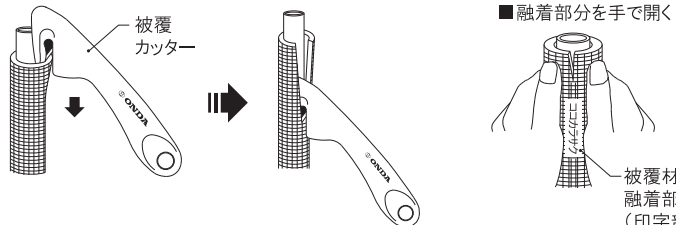

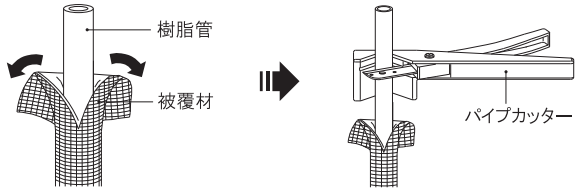
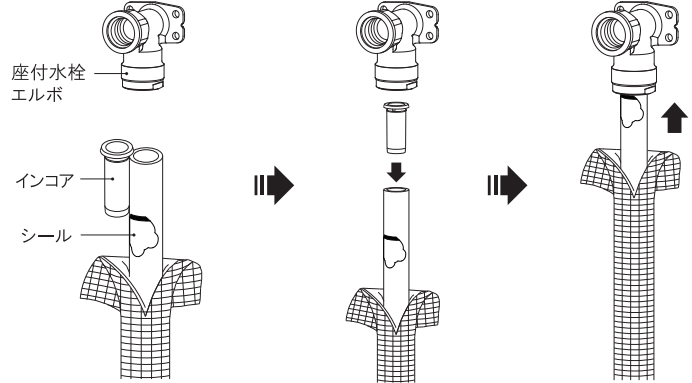
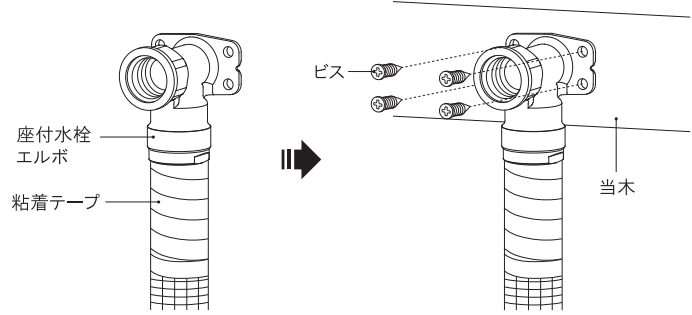
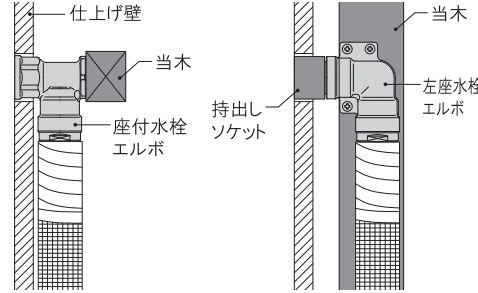
8 特記事項

9 参考資料

5 ヘッダー工法施工手順

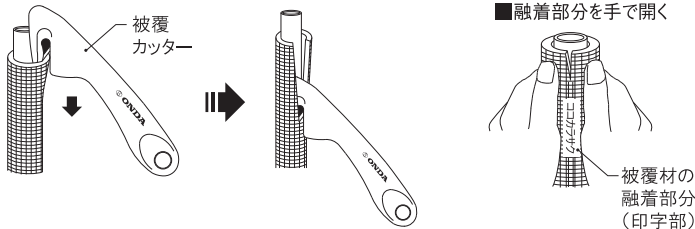
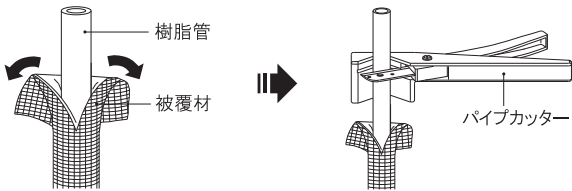
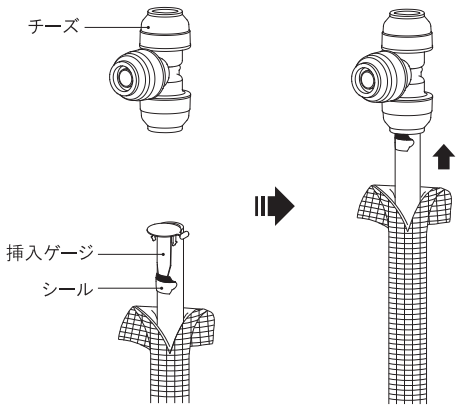
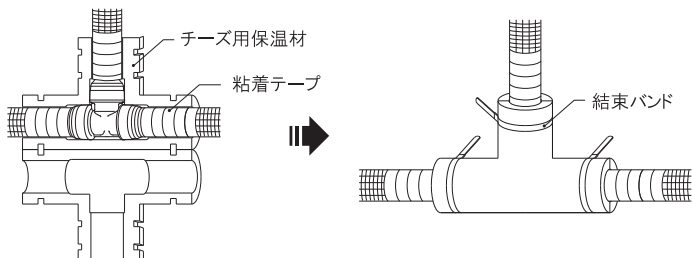

継手の施工手順

2 座付水栓エルボの取付方法

作業手順	⚠ 注意
<p>① 被覆材と樹脂管の間に被覆カッター先端を挿入し、樹脂管の接続に必要な長さまで被覆カッターを引いて被覆材を切ります。又は、被覆材の融着部分を手で開きます。</p> 	<p>・ 被覆材を開くために、カッターナイフ等の刃物を使用しないで下さい。刃先が樹脂管にあたり、樹脂管を傷つける恐れがあります。</p>  <p>Point 被覆ポリパイプWには融着部分に案内線が印刷されています。</p>
<p>② 被覆材の切った部分を折り返して、樹脂管をパイプカッターを用いて管軸に直角になるように切断します。</p> 	<p>Point ダブルロックジョイント接続手順の詳細は P7 をご覧ください。</p>
<p>③ 座付水栓エルボに貼られたシールをはがし、インコアを取出します。シールのラインをインコア挿入部の長さに合わせて樹脂管に貼付けます。</p> <p>④ インコアを根元まで樹脂管に差込みます。</p> <p>⑤ シールのラインが座付水栓エルボ端面に入るまで樹脂管を座付水栓エルボに差込みます。</p>	<p>・ 樹脂管の接続は確実に行ってください。差込み不足は漏水の原因になります。</p>
	<p>・ 樹脂管が劣化しますので、粘着テープを直接樹脂管に巻かないで下さい。</p>
<p>⑥ 被覆材を元に戻し、座付水栓エルボに触れる位置で余分な被覆材を切り落とします。樹脂管が露出しないよう、粘着テープを巻き付けます。</p> <p>⑦ 座付水栓エルボを当木に固定します。</p> 	<p>・ 座付水栓エルボのねじ部端面が、壁仕上げ面と一致するように当木を取付けて下さい。また、ねじ部端面が壁仕上げ面に届かない場合や厚壁の場合は、持出しソケットを使用して下さい。</p> 

1 特長仕様
2 注意事項
3 配管設計
4 サヤ管ヘッダー工法 施工手順
5 ヘッダー工法 施工手順
6 先分岐工法 施工手順
7 水圧検査方法例
8 特記事項
9 参考資料

3 チーズの取付方法

作業手順	⚠ 注意
<p>① 被覆材と樹脂管の間に被覆カッター先端を挿入し、樹脂管の接続に必要な長さまで被覆カッターを引いて被覆材を切ります。又は、被覆材の融着部分を手で開きます。</p>  <p>■融着部分を手で開く</p> <p>被覆カッター</p> <p>被覆材の融着部分 (印字部)</p> <p>② 被覆材の切った部分を折り返して、樹脂管をパイプカッターを用いて管軸に直角になるように切断します。</p>  <p>樹脂管</p> <p>被覆材</p> <p>パイプカッター</p> <p>③ チーズ接続口から挿入ゲージとシールを取出します。挿入ゲージを樹脂管に合わせ、シールを貼付けます。</p> <p>④ シールのラインがチーズ端面に入るまで樹脂管をチーズに差込みます。</p>  <p>チーズ</p> <p>挿入ゲージ</p> <p>シール</p> <p>⑤ 他の接続口も同様に①～④を繰り返し、接続します。</p> <p>⑥ 被覆材を元に戻し、チーズに触れる位置で余分な被覆材を切り落とします。樹脂管が露出しないよう、粘着テープを巻き付け、チーズ用保温材の中に被覆材ごと入れます。</p> <p>⑦ チーズ用保温材を重ね、結束バンド等で固定します。</p>  <p>チーズ用保温材</p> <p>粘着テープ</p> <p>結束バンド</p>	<p>・ 被覆材を開くために、カッターナイフ等の刃物を使用しないで下さい。刃先が樹脂管にあたり、樹脂管を傷つける恐れがあります。</p>  <p>Point 被覆ポリパイプWには融着部分に案内線が印刷されています。</p> <p>Point ダブルロックジョイントP接続手順の詳細は P8 をご覧下さい。また、ダブルロックジョイントの接続手順は P7 をご覧下さい。</p> <p>・ 樹脂管の接続は確実に行って下さい。差込み不足は漏水の原因になります。</p> <p>・ 樹脂管が劣化しますので、粘着テープを直接樹脂管に巻かないで下さい。</p>

1

特長仕様

2

注意事項

3

配管設計

4

サヤ管ヘッダー工法
施工手順

5

ヘッダー工法
施工手順

6

先分岐工法
施工手順

7

水圧検査方法例

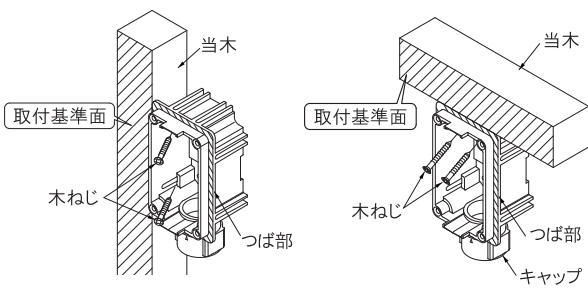
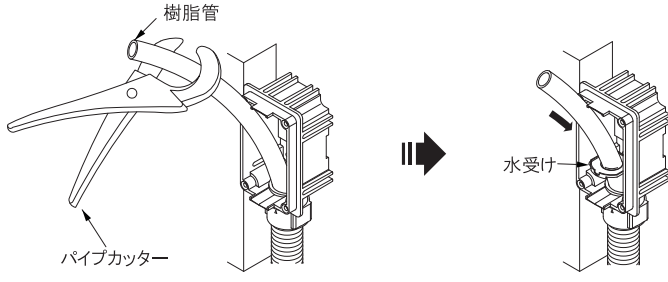
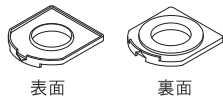
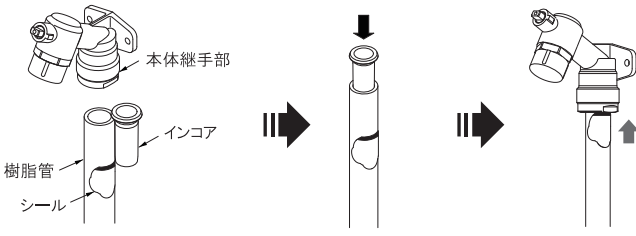
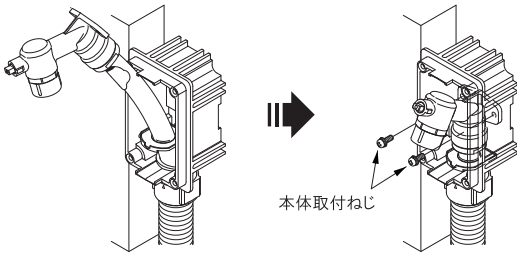
8

特記事項

9

参考資料

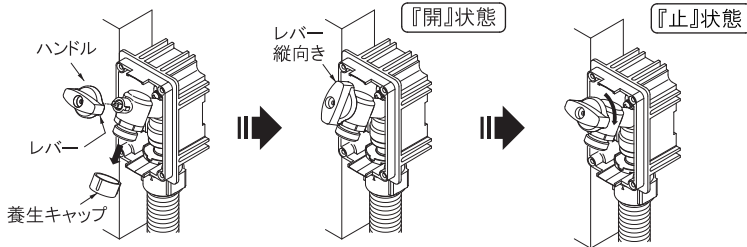
4 洗濯機用コンセントの取付方法

作業手順	⚠ 注意
<p>1. ボックスの取付け</p> <p>① 壁厚が12.5mmであることを確認し、9.5mmの場合はスペーサーを取付けて下さい。(WF1型)</p> <p>② 取付高さを考慮して当木などを設け、ボックスの側面(2箇所)または、上面(2箇所)を木ねじで取付けて下さい。</p>  <p>③ サヤ管をキャップに差込んで下方向へ引っ張り、抜けないことを確認して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> WF1M1型は壁厚が12.5mmであることを確認し、15mmの場合はプレートを取付けて下さい。 WF1L型は壁厚が25mmであることを確認し、22mmの場合はスペーサーを1枚、19mmの場合はスペーサーを2枚取付けて下さい。 ボックスのつば部と取付基準面が一致するように注意して取付けて下さい。 <p>Point</p> <p>サヤ管を使用しない工法の場合でも、壁配管部分はサヤ管を使用する事をお勧めします。</p>
<p>2. 本体の取付け</p> <p>① パイプカッターを用いて樹脂管を管軸に対して直角に切断して下さい。</p> <p>② 水受けを樹脂管に差込んで下さい。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂管を引き出す際に、ボックスで樹脂管にキズを付けないように注意して下さい。 ボックスと本体の取付けは、必ず給水元より先に行ってください。本体がボックスに収められない場合があります。 水受けの表面が上になるように、注意して取付けて下さい。 
<p>③ 本体継手部に貼られたシールをはがし、インコアを取出します。シールのラインをインコア挿入部の長さに合わせて樹脂管に貼り付けます。</p> <p>④ インコアを根元まで樹脂管に差込みます。</p> <p>⑤ シールのラインが本体継手部端面に入るまで樹脂管を本体継手部に差込みます。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ダブルロックジョイント接続手順の詳細は P7 をご覧ください。 樹脂管の接続は確実に行って下さい。差込み不足は漏水の原因になります。
<p>⑥ 本体と水受けをボックスに収めて、本体取付ねじで固定して下さい。</p> 	

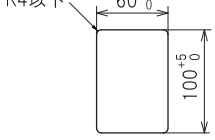
1 特長仕様
2 注意事項
3 配管設計
4 サヤ管ヘッダー工法 施工手順
5 ヘッダー工法 施工手順
6 先分岐工法 施工手順
7 水圧検査方法例
8 特記事項
9 参考資料

3. 耐圧検査

- ① ハンドルのレバーを横向きにしてハンドルを取付けて下さい。
- ② 養生キャップを取外し、ハンドルを反時計回りに回して、給水管にたまったエアを抜いて下さい。
- ③ ハンドルを時計回りに止まるまで(90°)回して下さい。
この状態で耐圧検査を実施して下さい。
- ④ 耐圧検査後、ハンドルを取外し、養生キャップを取付けて下さい。

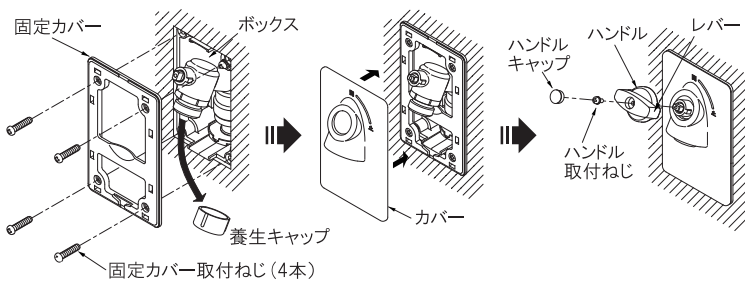


4. ボード(壁)施工時の壁開口

- ① 右図のように壁に穴をあけ、壁をはりつけて下さい。

- ② ボックスの状態を確認し、ボックスと壁裏面との間にすき間や傾きがある場合は、木ねじをゆるめて微調整して下さい。

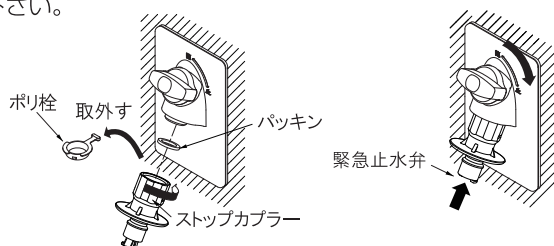
5. カバー及びハンドルの取付け

- ① 養生キャップを取外し、固定カバーを固定カバー取付ねじ(4本)でボックスに取付けて下さい。固定カバーとボックスでボード(壁)を挟み付けた状態になります。
- ② カバーを固定カバーに取付けて下さい。
- ③ ハンドルを差し込み、ハンドル取付ねじをねじ込み、ハンドルキャップを取付けて下さい。ハンドルのレバーがカバー表示の『開』『止』の間になるように取付けて下さい。



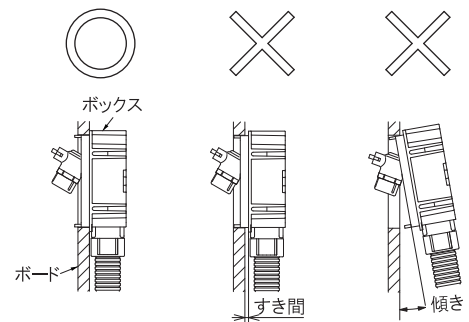
6. ストップカブラーの取付け

- ① ポリ栓を取外し、ストップカブラーを本体に取付けて下さい。ストップカブラーにパッキンがあることを確認して下さい。
- ② ストップカブラーを工具で回し、ガタつきのないようしっかりと締付けて固定して下さい。1N・m ~ 2N・mが目安です。
- ③ 施工後、ハンドルを『止』の位置にして緊急止水弁を押し、圧力を抜いて下さい。



・ハンドルのレバーが縦向きなときが『開』の状態です。
バルブは『止』の状態で工場出荷されていますので注意して下さい。

・ボックスと壁裏面との間にすき間や傾きのないことを必ず確認して下さい。すき間や傾きがあると、カバーとハンドル、ストップカブラーが干渉したり、固定カバーが取付けられなくなるおそれがあります。また、漏水の発見が遅れるおそれがあります。



・電動ドライバーは使用してはいけません。

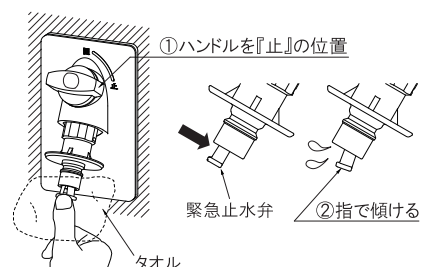
・固定カバー取付ねじを締めすぎないように注意して下さい。固定カバーが変形しカバーが正常に取付かなくなる可能性があります。

・カバーにキズが付かないように注意して下さい。

■ 給水ホースが接続できない場合

通水後、給水ホースを取外した時などに、ストップカブラー内の圧力により緊急止水弁が作動し、再接続しにくい場合があります。

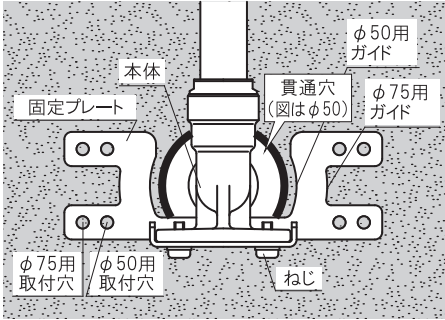
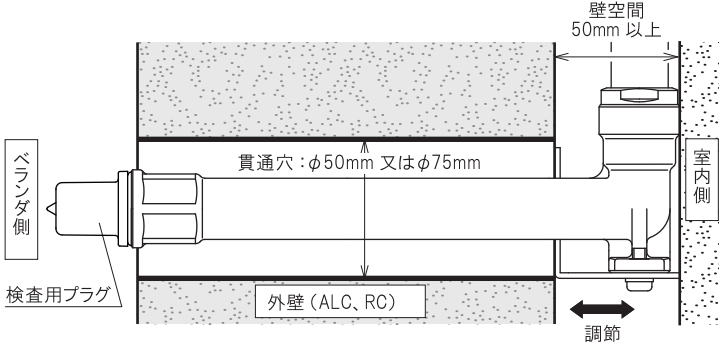
この場合は、ストップカブラー内の圧力逃しを行って下さい。(6.ストップカブラーの取付け③)



1	特長仕様
2	注意事項
3	配管設計
4	サヤ管ヘッダー工法 施工手順
5	↑ッター工法 施工手順
6	先分岐工法 施工手順
7	水圧検査方法例
8	特記事項
9	参考資料

5 ヘッダー工法施工手順

5 SK用継手の取付方法

作業手順	⚠ 注意
<p>① φ50又はφ75の貫通穴を設けます。</p> <p>② 固定プレートと本体を付属のねじで仮固定します。</p> <p>③ 本体を貫通穴の中心に合わせ、固定プレートをコンクリートビス等で壁に固定します。貫通穴外周と固定プレートのガイド(円弧)で調節すると位置出しが容易です。</p>  <p>④ ベランダ側への本体突出量を調節し、仮固定のねじを本締めします。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ侵入防止のため、検査用プラグは水栓を施工するまで外してはいけません。また、継手に貼られたシールは樹脂管を接続するまで外してはいけません。 ・ 貫通穴をモルタルで埋め戻す場合、本製品に専用のポリエチレン防食テープで適切な防食処理を施して下さい。 ・ 固定プレートはベランダ水栓取付時に本体の回転を防止するため必ず使用し、コンクリートビス等にて4ヵ所で壁へ固定して下さい。 ・ ダブルロックジョイント接続手順の詳細は P7 をご覧下さい。 ・ 本体突出量調節後、固定プレートと本体を付属のねじで必ず固定して下さい。

1 特長仕様
2 注意事項
3 配管設計
4 サヤ管ヘッダー工法 施工手順
5 ヘッダー工法 施工手順
6 先分岐工法 施工手順
7 水圧検査方法例
8 特記事項
9 参考資料